

基礎中学 専攻

設置クラス	土曜午前専科(実技) 中学生 9:30~13:30	土曜午前専科(学科) 中3生限定* 14:00~15:30
	土曜午後専科(実技) 中学生 14:30~18:30	土曜午後専科(学科) 中3生限定* 12:30~14:00
	日曜専科(実技) 中学生 9:30~13:30	日曜専科(学科) 中3生限定* 14:00~15:30

*基礎中学(学科)中3生限定は実技クラスに在籍する場合のみお申し込みいただけます。(ただし、学科クラスは実技クラスの曜日・時間帯に応じます。)
(例)実技クラスが土曜午前クラスの方は学科クラスも土曜午前クラスのみ選択可能です。



感動を表現する喜び。

芸術の本質は見えるものを再現するのではなく、見えるようにすることだ(パウル・クレー)。基礎中学専攻ではデッサンの基礎から多彩な描画活動や楽しいレクチャーなどを通して、想像力や豊かな感性を育て、これからの造形活動の基本となる「デッサン」をしっかり身につけます。また、美術系高校入試に向け、実技対策の個別指導、進路説明会、保護者面談などを通して、確実な個人指導で志望校合格をめざします。

指導スタッフ

絵画、立体、デザイン、工芸の各領域のベテラン講師たちが丁寧にわかりやすく描画指導を行います。受験コースは多くの美術系高校の合格者を輩出しています。

- レギュラー講師
- 今川 理恵 愛知芸大大学院彫刻修
- 木村 節治 愛知芸大大学院油画修
- 篠崎 和真 愛知芸大大学院日本画修

- チューター
- 齋藤 勇介 愛知芸大大学院彫刻在籍
- 坂下 安慈 愛知芸大日本画在籍
- 下村 陽菜 名古屋芸術大美術在籍
- 中居 真紀 名古屋造形大美術表現卒



(2025年12月現在・50音順)

年間カリキュラム	受験コース 対象：中3生	デッサンコース 対象：中1~3生
1 学期 ●入塾ガイダンス ●美術系高校進学ガイダンス	[デッサンの基礎] ~素描の基礎知識と技術~ ●デッサン研究Ⅰ(デッサンの基本技術) ●デッサン研究Ⅱ(デッサンの歴史と表現) ●石膏デッサン ●手のデッサン ●選択デッサン ●静物デッサン ●木炭デッサン	春期講習 [絵画表現の基礎] ~デッサンの基礎と絵画表現~ ●デッサン研究Ⅰ(デッサンの基本技術) ●デッサン研究Ⅱ(デッサンの歴史と表現) ●石膏デッサン ●手のデッサン ●水彩画 ●静物デッサン ●木炭デッサン
	2 学期 ●保護者会 ●作品展示会(ギャラリー) ●ウィンドウ展示	[デッサンの応用研究] ~描写力・表現力の強化~ ●志望校別対策(選択デッサン)2回で1枚制作 ●静物デッサン ●石膏デッサン ●手のデッサン ●志望校別対策 ●その他
3 学期 ●修了会	[応用課題・傾向と対策] ~志望校別実践演習~ ●個別問題点徹底研究 ●志望校別個別対策 ●入試直前デッサン対策	冬期講習 [さまざまなデッサン表現] ~絵画表現力の強化~ ●素描研究Ⅰ ●素描研究Ⅱ ●細密イメージデッサン(質感や陰影を考えて素描研究) ●組みモチーフのデッサン



進学ガイダンス：合同

6月の中旬に受験生を対象とした進学ガイダンスを行います。美術系高等学校の紹介と学校の特色や試験内容、昨年度の入試状況など資料を基に説明します。



個別集中指導：合同「石膏デッサン」

個人の特性にあった指導を重視し、的確なアドバイスができるように授業を進めています。授業中に時間を設けて実施します。



デッサン基礎授業：受験コース

1学期は幾何形態などの形の単純なものから素描の基礎をしっかりと学んでいきます。特に明暗と奥行き表現は大切なものです。



デッサン基礎授業：受験コース「木炭デッサン」

大まかな形態の変化を明暗の調子で描く活動です。モチーフ全体を大きくとらえることは大変難しいことですがゆっくりと学んでいきます。



デッサン基礎授業：受験コース「講評会」

作品制作が終了することに講師が一人ひとり丁寧にわかりやすく作品の講評、アドバイスをします。鉛筆の静物デッサンです。色や質感がそれぞれ楽しく表現されています。

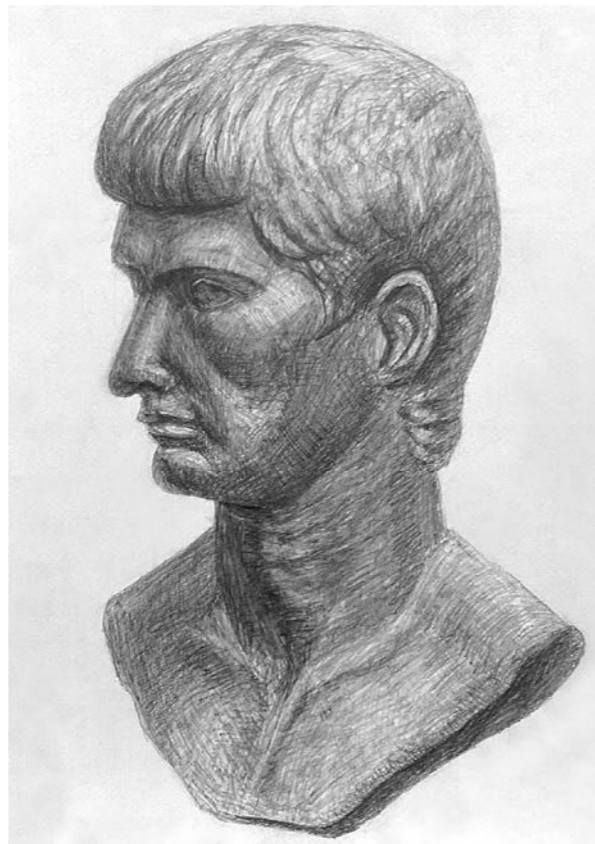


水彩画実習：デッサンコース

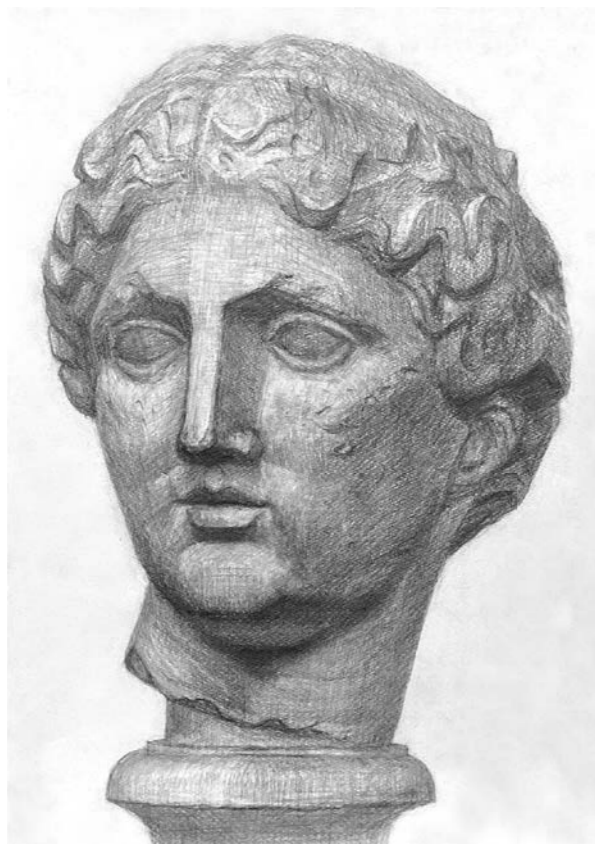
鉛筆と水彩絵具を併用した静物着色を行います。色と筆を用いたデッサンとして取り組むことで楽しく基礎を学ぶことができます。デッサンコースではさまざまな角度から構成力と描写力を身につけます。



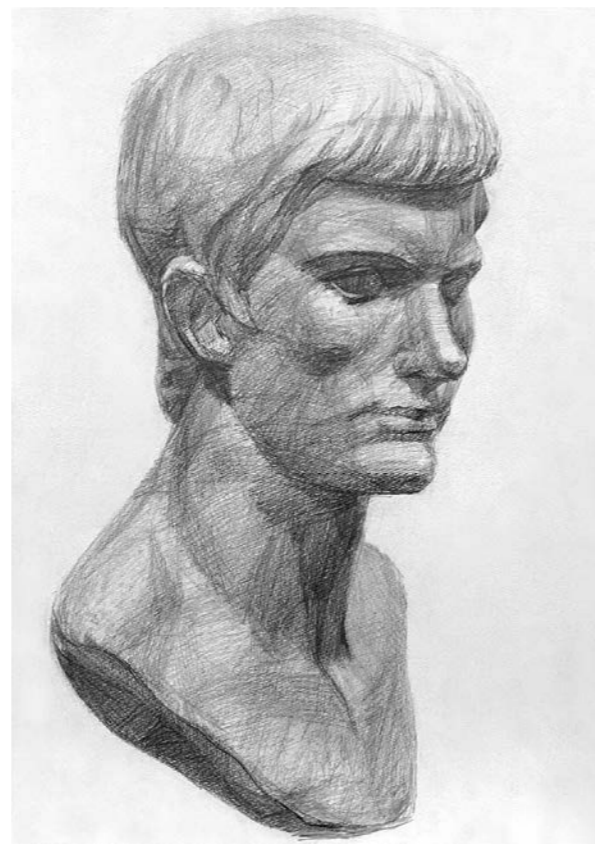
1. しっかりとした描写力で明暗の色調が美しく表現されているビーナス像です。難しい奥行きの変化も丁寧に仕上げてあり、見応えのある作品です。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】



2. プルータス像の持つ印象を的確に捉え、大まかな形体も几帳面に描き込んでいます。正確なプロポーションや面の色調が像に存在感を与えています。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】



3. 像の色調が美しくまとまっていてどっしりとした塊感が表現されています。正確な面取りもできていて迫力のある石膏デッサンです。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】



4. 陰影がはっきりと表現された丁寧な描写で、首像の大きさを感じられます。観察力や描写力の向上が見られるデッサンです。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】



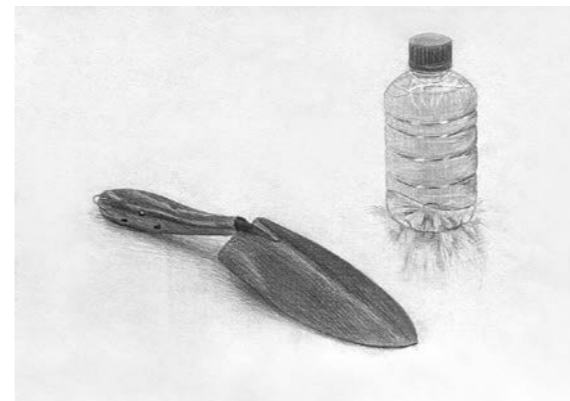
5



6



7



8

- 5. 個性的なタッチで手の質感や明暗を描いた現実感のあるデッサンです。ボールを持つ指も丁寧に観察し、しっかりと握っている状態が強く表現されています。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】
- 6. 手の自然な形体や動きを素直に捉え表現されています。肌とクリップの質感の違いもきれいに描き出されてボリュームのある作品になりました。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】
- 7. 複雑なモチーフを持ってポーズする手を描くことは大変難しいです。広がりのあるこのポーズは画面全体を引き締め、描写力の高さと作品に緊張感を与えています。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】
- 8. モチーフの特徴を描きながらも単純で美しくまとめ上げた作品です。細部の描写に物足りなさはありませんが、滑らかなグラデーションがきれいです。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】
- 9. よく描き込んである作品です。像の印象も的確に捉え、形体と明暗の関係がバランス良く表現されています。細部の描写にこだわりを持つと良いでしょう。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】
- 10. メディチ像の特徴的な流動感が美しく表現されボリュームのある作品です。奥行きや空間も粘り強く描写され、画面全体が味わい深いものになりました。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】
- 11. 光に当てられた石膏像の「光と陰」の関係が魅力的に表現されています。基本的な物の見方や描き方を忘れずに像の印象を描き切った作品です。【3h・四ツ切画用紙・鉛筆】



9



10



11

授業紹介



デッサン基礎

1学期はデッサン力となる表現技法をしっかりと身につけます。ポイントとなる項目の構図・プロポーション・明暗・奥行き（空間）・固有色・質感などの捉え方や描き方を根気よく学んでいきます。



手のデッサン

入試の課題でもある手のデッサンは、マッサ（塊）や流動感、プロポーションを正確に捉えることが大切です。空間や質感も重視し、バランス良く仕上げていきます。



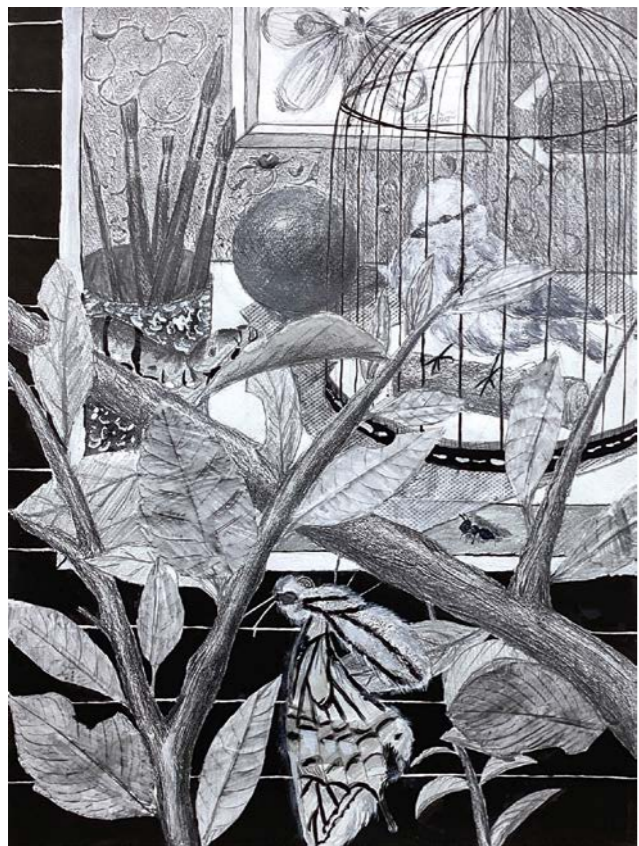
石膏デッサン（入試対策）

それぞれの美術系高校に合った対策指導を徹底します。カリキュラムの内容や時間を調整し個人指導を行っています。



木炭デッサン

木炭は大きな面で明暗がつくれます。明暗で形体感を容易にコントロールすることができるので形の追求に適した活動です。



1. ジェッソ(アクリルの下地絵具)と墨や鉛筆・ペンなどの素材を使ったイメージデッサンです。多彩な技法を駆使し、安定感のある構図によって静物画がとても楽しく表現されています。[8h・B2画用紙・ジェッソ、墨、鉛筆、プロッター・ジュ]



2. 大胆な動きのある構図です。また、的確な描写や色調の美しさは目を見張るものがあります。B2サイズの大きな作品ですが、画面全体にバランス良くしっかりと描かれています。[8h・B2画用紙・鉛筆]



3. 墨で塗ったタッチやグラデーションは美しく華やかな色調をつくり出しています。数あるモチーフの配置もユニークでとてもおもしろい作品です。中学1年生の作品です。[8h・B2画用紙・ジェッソ、墨、鉛筆]



4. 2つのモチーフの特徴をうまく捉えて表現しています。質感や明度の違いなどの確に描かれ丁寧な描写が魅力的です。観察力や表現力のレベルの高さを感じます。[3h・四ツ切画用紙・鉛筆]



5. 画材の特性を生かして、モチーフの立体と空間、また質感を的確に描写しています。現象や涼しげな印象も豊かに表現しています。[6h・四ツ切画用紙・鉛筆、水彩絵具]



6. 中学2年生の作品です。像全体の形体や明暗を正しく捉えてしっかりと立体を感じさせます。細部の描写もはっきりと描かれていてバランスの取れたデッサンです。[3h・四ツ切画用紙・鉛筆]



7. 中学2年生の作品です。柔かなタッチと明暗がこの作品を美しく仕上げています。対象に魅力を感じ素直に描く姿勢はとても大切です。[3h・四ツ切画用紙・鉛筆]



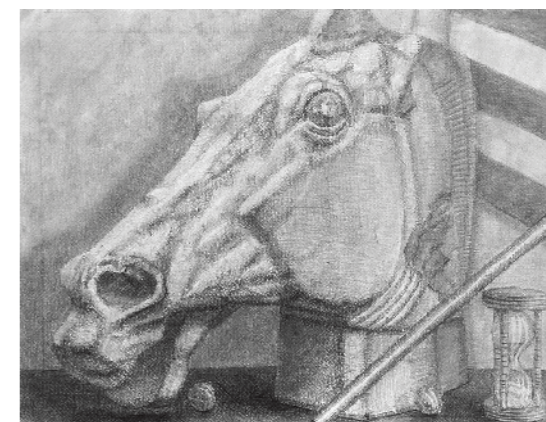
8. 中学1年生の最初の石膏デッサンです。自分の捉えた像の印象をしっかりと描き切っています。フルーツ像をありのままに観察し、感じた通りに表現した力強い存在感のある作品です。[3h・四ツ切画用紙・鉛筆]



9. グレーの紙に白と黒のコンテで自画像を描きました。リアルな顔の表情は圧巻です。コンテの扱いがとても巧みで、ハーフトーンが画面全体に緊張感を漂わせています。[6h・グレーの四ツ切ミューズコットン紙・白黒コンテ]



10. 枯葉とビー玉の小さなモチーフをペンと墨汁を使って描きました。細かな描写が巧んでいる葉の様子をしっかりと捉えています。ペンの表現技術を堪能できる素敵な作品になりました。[2h・十六切ケント紙・ペン、墨]



11. 安定感のある構図と明るいトーンでの描写はこの作品に落ち着いた気品と爽やかな空間を感じさせます。横からのセレネの馬も見応えがあり、デッサン力の向上がうかがえます。[8h・B2画用紙・鉛筆]

授業紹介



デッサンオリエンテーション
はじめてデッサンを行う受講生のために、デッサン用具の説明や描く姿勢などを細かく丁寧に指導していきます。これからいろいろなものを描くための準備をしっかりと行います。



基礎デッサン
デッサンの基本となる“ポイント”を項目化して一つずつゆっくりと学習します。構図・プロポーション・動き・明暗・奥行き・質感などに理解を深め、総合的な見方、捉え方を学びます。



絵画実習(コンテ画)
色彩素材や木炭・白コンテ・ペンなど多彩な材料を扱いながら絵画制作に取り組んでいきます。それぞれの特色ある活動から表現力や描写力などを学んでいきます。



絵画実習(静物デッサン)
デッサンの工程をしっかりと身につけながら、それぞれのプロセスのポイントを理解して進めていきます。観察力・表現力を描きながら身につけます。